

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【公表番号】特表2010-528053(P2010-528053A)

【公表日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2010-509585(P2010-509585)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/131	(2006.01)
A 6 1 P	31/16	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	27/16	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/131	
A 6 1 P	31/16	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	27/16	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 K	45/06	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	9/00	

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月23日(2011.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インフルエンザ感染症を処置するための方法であって、以下の工程を含む方法：  
対象をインフルエンザ感染症と診断する工程；および  
該対象に有効量のシステアミンまたはその塩と第二のウイルス治療用物質を投与する工程。

【請求項 2】

インフルエンザウイルス感染症がインフルエンザA型、インフルエンザB型、およびインフルエンザC型からなる群より選択される、請求項1記載の方法。

【請求項 3】

対象がトリインフルエンザウイルスに感染している、請求項2記載の方法。

【請求項 4】

トリインフルエンザウイルスがH1N1、H1N2、H2N2、H3N2、H3N8、H5N1、H5N2、H5N3、H5N8、H5N9、H7N1、H7N2、H7N3、H7N4、H7N7、H9N2、およびH10N7からなる群より選択されるサブタイプのものである、請求項3記載の方法。

【請求項 5】

第二のウイルス治療用物質がアマンタジン、リマンタジン、リバビリン、イドクスウリジン、トリフルリジン、ビダラビン、アシクロビル、ガンシクロビル、ホスカルネット、ジドブジン、ジダノシン、ザルシタビン、スタブジン、ファムシクロビル、リン酸オセルタミビル、ザナミビル、およびバラシクロビルからなる群より選択される、請求項1記載の方法。

【請求項 6】

対象に少なくとも0.1mgのシステアミンまたはその塩を毎日投与する工程を含む、請求項1記載の方法。

【請求項 7】

2mg～3,000mgの間のシステアミンまたはその塩を毎日投与する工程を含む、請求項6記載の方法。

【請求項 8】

システアミン塩がシステアミン塩酸塩である、請求項1記載の方法。

【請求項 9】

同時に投与されるシステアミンまたはその塩と第二のウイルス治療用物質が経口的に、非経口的に、静脈内に、筋肉内に、経皮的に、頬側経路で、皮下的、または坐剤により投与される、請求項1記載の方法。

【請求項 10】

システアミンまたはその塩および第二のウイルス治療用物質を共に同時に投与する、請求項1記載の方法。

【請求項 11】

インフルエンザ感染症に伴う合併症の重症度、強度、または期間を減少させるための方法であって、以下の工程を含む方法：

対象をインフルエンザ感染症と診断する工程；および  
該対象に有効量のシステアミン化合物と第二のウイルス治療用物質を同時に投与する工程。

【請求項 12】

インフルエンザウイルス感染症がインフルエンザA型、インフルエンザB型、およびインフルエンザC型からなる群より選択される、請求項11記載の方法。

【請求項 13】

対象がトリインフルエンザウイルスに感染している、請求項12記載の方法。

【請求項 14】

トリインフルエンザウイルスのサブタイプがH1N1、H1N2、H2N2、H3N2、H3N8、H5N1、H5N2、H5N3、H5N8、H5N9、H7N1、H7N2、H7N3、H7N4、H7N7、H9N2、およびH10N7からなる群より選択される、請求項13記載の方法。

【請求項 15】

インフルエンザウイルス感染症に伴う合併症が脳炎、気管支炎、気管炎、筋肉炎、鼻炎、副鼻腔炎、喘息、細菌感染症、心臓合併症、ライ症候群、神経学的合併症、毒素ショック症候群、筋炎、ミオグロビン尿、並びに、腎不全、クループ、中耳炎、肺線維症、閉塞性細気管支炎、気管支拡張症、喘息の悪化、慢性閉塞性肺疾患の悪化、肺膿瘍、膿胸、肺アスペルギルス症、筋肉炎およびミオグロビン血症、心不全、妊婦における早期および後期胎児死亡、妊婦における周産期死亡率の増加、並びに出産における先天性異常からなる群より選択される、請求項11記載の方法。

【請求項 16】

第二のウイルス治療用物質がアマンタジン、リマンタジン、リバピリン、イドクスウリジン、トリフルリジン、ビダラビン、アシクロビル、ガンシクロビル、ホスカルネット、ジドブジン、ジダノシン、ザルシタビン、スタブジン、ファムシクロビル、リン酸オセルタミビル、ザナミビル、バラシクロビル、鎮咳剤、粘液溶解薬、去痰薬、解熱薬、鎮痛薬、および鼻腔うっ血除去薬からなる群より選択される、請求項11記載の方法。

【請求項 17】

対象に少なくとも0.1mgのシステアミン化合物を毎日投与する工程を含む、請求項11記載の方法。

【請求項 18】

2mg～3,000mgのシステアミン化合物を毎日投与する工程を含む、請求項17記載の方法。

【請求項 19】

システアミン化合物がシステアミン、システアミン塩、システアミンのプロドラッグ、システアミンの類似体、システアミンの誘導体、システアミンのコンジュゲート、およびシステアミンの代謝産物からなる群より選択される、請求項11記載の方法。

【請求項 20】

システアミン化合物がシステアミン塩酸塩またはシステアミンリン酸塩である、請求項19記載の方法。

【請求項 21】

システアミン化合物と第二のウイルス治療用物質が同時に経口的に、非経口的に、静脈内に、筋肉内に、経皮的に、頸側経路で、皮下的に、または坐剤により投与される、請求項11記載の方法。

【請求項 22】

システアミン化合物および第二のウイルス治療用物質を共に同時に投与する、請求項11記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明は、より好ましくは、システアミン化合物およびウイルス治療用物質の同時投与による、トリインフルエンザウイルス感染症の処置および／または予防のための方法、トリインフルエンザウイルス感染症に関連する症状の緩和、更にトリインフルエンザウイルス感染症に関連する合併症発生の予防または遅延を提供する。

[請求項1001]

インフルエンザ感染症を処置するための方法であって、以下の工程を含む方法：

対象をインフルエンザ感染症と診断する工程；および

該対象に有効量のシステアミン化合物と第二のウイルス治療用物質を投与する工程。

[請求項1002]

インフルエンザウイルス感染症がインフルエンザA型、インフルエンザB型、およびインフルエンザC型からなる群より選択される、請求項1001記載の方法。

[請求項1003]

対象がトリインフルエンザウイルスに感染している、請求項1002記載の方法。

[請求項1004]

トリインフルエンザウイルスがH1N1、H1N2、H2N2、H3N2、H3N8、H5N1、H5N2、H5N3、H5N8、H5N9、H7N1、H7N2、H7N3、H7N4、H7N7、H9N2、およびH10N7からなる群より選択されるサブタイプのものである、請求項1003記載の方法。

[請求項1005]

第二のウイルス治療用物質がアマンタジン、リマンタジン、リバビリン、イドクスウリジン、トリフルリジン、ビダラビン、アシクロビル、ガンシクロビル、ホスカルネット、ジドブジン、ジダノシン、ザルシタビン、スタブジン、ファムシクロビル、リン酸オセルタミビル、ザナミビル、およびバラシクロビルからなる群より選択される、請求項1001記載の方法。

[請求項1006]

対象に少なくとも0.1mgのシステアミン化合物を毎日投与する工程を含む、請求項1001記載の方法。

[請求項1007]

2mg～3,000mgの間のシステアミン化合物を毎日投与する工程を含む、請求項1006記載の方法。

[請求項1008]

システアミン化合物がシステアミン、システアミン塩、システアミンのプロドラッグ、システアミンの類似体、システアミンの誘導体、システアミンのコンジュゲート、およびシステアミンの代謝産物からなる群より選択される、請求項1001記載の方法。

[請求項1009]

システアミン塩がシステアミン塩酸塩またはシステアミンリン酸塩である、請求項1008記載の方法。

[請求項1010]

同時に投与されるシステアミン化合物と第二のウイルス治療用物質が経口的に、非経口的に、静脈内に、筋肉内に、経皮的に、頬側経路で、皮下的に、または坐剤により投与される、請求項1001記載の方法。

[請求項1011]

システアミン化合物および第二のウイルス治療用物質と共に同時に投与する、請求項1001記載の方法。

[請求項1012]

インフルエンザ感染症に伴う合併症の重症度、強度、または期間を減少させるための方法であって、以下の工程を含む方法：

対象をインフルエンザ感染症と診断する工程；および

該対象に有効量のシステアミン化合物と第二のウイルス治療用物質を同時に投与する工程。

[請求項1013]

インフルエンザウイルス感染症がインフルエンザA型、インフルエンザB型、およびインフルエンザC型からなる群より選択される、請求項1012記載の方法。

[請求項1014]

対象がトリインフルエンザウイルスに感染している、請求項1013記載の方法。

[請求項1015]

トリインフルエンザウイルスのサブタイプがH1N1、H1N2、H2N2、H3N2、H3N8、H5N1、H5N2、H5N3、H5N8、H5N9、H7N1、H7N2、H7N3、H7N4、H7N7、H9N2、およびH10N7からなる群より選択される、請求項1014記載の方法。

[請求項1016]

インフルエンザウイルス感染症に伴う合併症が脳炎、気管支炎、気管炎、筋肉炎、鼻炎、副鼻腔炎、喘息、細菌感染症、心臓合併症、ライ症候群、神経学的合併症、毒素ショック症候群、筋炎、ミオグロビン尿、並びに、腎不全、クループ、中耳炎、肺線維症、閉塞

性細気管支炎、気管支拡張症、喘息の悪化、慢性閉塞性肺疾患の悪化、肺膿瘍、膿胸、肺アスペルギルス症、筋肉炎およびミオグロビン血症、心不全、妊婦における早期および後期胎児死亡、妊婦における周産期死亡率の増加、並びに出産における先天性異常からなる群より選択される、請求項1012記載の方法。

[請求項1017]

第二のウイルス治療用物質がアマンタジン、リマンタジン、リバビリン、イドクスウリジン、トリフルリジン、ビダラビン、アシクロビル、ガンシクロビル、ホスカルネット、ジドブジン、ジダノシン、ザルシタビン、スタブジン、ファムシクロビル、リン酸オセルタミビル、ザナミビル、バラシクロビル、鎮咳剤、粘液溶解薬、去痰薬、解熱薬、鎮痛薬、および鼻腔うっ血除去薬からなる群より選択される、請求項1012記載の方法。

[請求項1018]

対象に少なくとも0.1mgのシステアミン化合物を毎日投与する工程を含む、請求項1012記載の方法。

[請求項1019]

2mg～3,000mgのシステアミン化合物を毎日投与する工程を含む、請求項1018記載の方法。

[請求項1020]

システアミン化合物がシステアミン、システアミン塩、システアミンのプロドラッグ、システアミンの類似体、システアミンの誘導体、システアミンのコンジュゲート、およびシステアミンの代謝産物からなる群より選択される、請求項1012記載の方法。

[請求項1021]

システアミン化合物がシステアミン塩酸塩またはシステアミンリン酸塩である、請求項1020記載の方法。

[請求項1022]

システアミン化合物と第二のウイルス治療用物質が同時に経口的に、非経口的に、静脈内に、筋肉内に、経皮的に、頬側経路で、皮下的に、または坐剤により投与される、請求項1012記載の方法。

[請求項1023]

システアミン化合物および第二のウイルス治療用物質を共に同時に投与する、請求項1012記載の方法。

[請求項1024]

インフルエンザウイルス感染症に伴う症状を処置するための方法であって、以下の工程を含む方法：

対象をインフルエンザウイルス感染症と診断する工程；および  
該対象に有効量のシステアミン化合物と第二のウイルス治療用物質を同時に投与する工程。

[請求項1025]

インフルエンザウイルス感染症がインフルエンザA型、インフルエンザB型、およびインフルエンザC型からなる群より選択される、請求項1024記載の方法。

[請求項1026]

対象がトリインフルエンザウイルスに感染している、請求項1025記載の方法。

[請求項1027]

トリインフルエンザウイルスがH1N1、H1N2、H2N2、H3N2、H3N8、H5N1、H5N2、H5N3、H5N8、H5N9、H7N1、H7N2、H7N3、H7N4、H7N7、H9N2、およびH10N7からなるサブタイプより選択される、請求項1026記載の方法。

[請求項1028]

第二のウイルス治療用物質がアマンタジン、リマンタジン、リバビリン、イドクスウリジン、トリフルリジン、ビダラビン、アシクロビル、ガンシクロビル、ホスカルネット、ジドブジン、ジダノシン、ザルシタビン、スタブジン、ファムシクロビル、リン酸オセルタミビル、ザナミビル、およびバラシクロビルからなる群より選択される、請求項1024記

載の方法。

[請求項1029]

鎮咳剤、粘液溶解薬、去痰薬、解熱薬、鎮痛薬、および鼻腔うつ血除去薬からなる群より選択される治療用物質を同時に投与する工程を更に含む、請求項1024記載の方法。

[請求項1030]

対象に少なくとも0.1mgのシステアミン化合物を毎日投与する工程を含む、請求項1024記載の方法。

[請求項1031]

2mg～3,000mgのシステアミン化合物を毎日投与する工程を含む、請求項1030記載の方法。

[請求項1032]

システアミン化合物がシステアミン、システアミン塩、システアミンのプロドラッグ、システアミンの類似体、システアミンの誘導体、システアミンのコンジュゲート、およびシステアミン代謝産物からなる群より選択される、請求項1024記載の方法。

[請求項1033]

システアミン化合物がシステアミン塩酸塩またはシステアミンリン酸塩である、請求項1032記載の方法。

[請求項1034]

システアミン化合物と第二のウイルス治療用物質が同時に経口的に、非経口的に、静脈内に、筋肉内に、経皮的に、頸側経路で、皮下的に、または坐剤により投与される、請求項1024記載の方法。

[請求項1035]

システアミン化合物および第二のウイルス治療用物質を共に同時に投与する、請求項1024記載の方法。

[請求項1036]

ウイルス感染症に関する合併症が引き起こされるのを防止するための方法であって、対象に有効量のシステアミン化合物と第二のウイルス治療用物質を投与する工程を含む方法。

[請求項1037]

インフルエンザウイルス感染症がインフルエンザA型、インフルエンザB型、およびインフルエンザC型からなる群より選択される、請求項1036記載の方法。

[請求項1038]

対象がトリインフルエンザウイルスに感染している、請求項1037記載の方法。

[請求項1039]

トリインフルエンザウイルスがH1N1、H1N2、H2N2、H3N2、H3N8、H5N1、H5N2、H5N3、H5N8、H5N9、H7N1、H7N2、H7N3、H7N4、H7N7、H9N2、およびH10N7からなるサブタイプより選択される、請求項1038記載の方法。

[請求項1040]

第二のウイルス治療用物質がワクチン接種、アマンタジン、リマンタジン、リバビリン、イドクスウリジン、トリフルリジン、ビダラビン、アシクロビル、ガンシクロビル、ホスカルネット、ジドブジン、ジダノシン、ザルシタビン、スタブジン、ファムシクロビル、リン酸オセルタミビル、ザナミビル、およびバラシクロビルからなる群より選択される、請求項1036記載の方法。

[請求項1041]

対象に少なくとも0.1mgのシステアミン化合物を毎日投与する工程を含む、請求項1036記載の方法。

[請求項1042]

2mg～3,000mgのシステアミン化合物を毎日投与する工程を含む、請求項1041記載の方法。

[請求項1043]

システアミン化合物がシステアミン、システアミン塩、システアミンのプロドラッグ、システアミンの類似体、システアミンの誘導体、システアミンのコンジュゲート、およびシステアミンの代謝産物からなる群より選択される、請求項1036記載の方法。

[請求項1044]

システアミン化合物がシステアミン塩酸塩またはシステアミンリン酸塩である、請求項1043記載の方法。

[請求項1045]

システアミン化合物と第二のウイルス治療用物質が同時に経口的に、非経口的に、静脈内に、筋肉内に、経皮的に、頬側経路で、皮下的に、または坐剤により投与される、請求項1036記載の方法。

[請求項1046]

システアミン化合物および第二のウイルス治療用物質を共に同時に投与する、請求項1036記載の方法。